

世界中にポジティブネットを



11月20日は何の日か、ご存知でしょうか。色々な記念日がありますが、その1つに「世界子どもの日」があります。日本では5月5日の「子どもの日」もありますが、11月20日は世界共通の子どもの日なのです。

「世界子どもの日」は、1954年、世界の子どもたちの相互理解と福祉の向上を目的として、国連が子どもの日を制定するよう加盟国に勧告したことから始まりました。その後、1959年11月20日に「子どもの権利宣言」、1989年11月20日に「子どもの権利条約」が国連総会で採択され、国連は11月20日を「世界子どもの日」と制定しました。

「子どもの権利条約」は、大人と同様にひとりの人間として社会に認められ、「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」を実現・確保するために必要なことを定めたものです。この条約が生まれたことにより、世界中で子どもの保護への取り組みが進みました。

日本のYMCAでは、1965年に日本YMCA東山荘で開催された世界YMCA同盟総会をきっかけに、日本YMCA同盟が中心となって、国際協力事業を本格化させました。1975年頃から日本各地で国際協力募金が行われるようになり、京都YMCAでは、1979年に第1回国際協力・街頭募金キャンペーンが開催されました。

第1回から41年経った現在、世界では、新型コロナウイルスが猛威を振るっています。その影響で、今年の街頭募金は中止となりましたが、今できる支援をしようと取り組んでいます。YMCAでは、新型コロナウイルス対策支援を含め、アジアを中心に、教育支援や生活支援、シリア・アフガニスタンから逃れた難民への支援を行っています。

大人も子どもも、すべての人がひとりの人間として社会に認められ、育ち、教育を受け、暴力や搾取を受けることなく、自由に生きること。当たり前のように、実は当たり前に行えていないことが、世界にはたくさんあります。

YMCAは、互いを認め合い、前向きな気持ちで助け合うことができる社会＝「ポジティブネット」のある社会を目指しています。今は、誰もが自分のことで精いっぱいかもしれない。だけど、時々考えてほしい。困っている人のために、自分にできることは何か。YMCAの募金でなくても、何でもいい。自分にとっては「ほんのささいなこと」でも、たくさんの方がすれば、大きな力になります。是非、その小さな一歩を踏み出してみてください。

#世界子どもの日 #前向きに自由に生きる権利を #ポジティブネット

YMCA 国際協力募金 — 子どもたちが、未来を創る。 —

教育支援

— コロナ禍にあるアジアのYMCA

主な支援国・地域：

東ティモール、カンボジア、インドネシア

アジア各国の貧困地域で、子どものケアや教育、医療、生活環境の整備、就業支援を行っています。

(取り組みの一例)

コロナ禍で収入を失ったコミュニティの人々へ
お米や石鹸の配布 他

多文化共生・難民支援

— 国内外の難民支援

主な支援国・地域：パレスチナ、ギリシャ

戦争や紛争等で故郷を追われた人々のために、国内外で支援を行っています。

(取り組みの一例)

パレスチナ難民の人々のケア、職業訓練、
女性や子どものための活動 他

募金の方法

・YMCAの窓口で

各フロアにて対応。現金で寄付金を受け付けております。チラシ・パンフレットをご希望の方は三条本館1階窓口までお越しください。

・口座振込で

郵便振替

01050-7-19132

京都YMCA奉仕活動基金

通信欄に「国際協力募金」とお書きください。

ブバネシュワールYMCAからメッセージが届きました

昨年12月に、京都YMCA加藤総主事と国際協力委員会のメンバーが、ブラザーYMCAであるインドのランチYMCAを訪問しました。その時にお会いした、ブバネシュワールYMCAのナイク総主事より、新型コロナウイルス支援事業へのサポートの要請を受け、京都YMCAの有志からブバネシュワールYMCAへUS\$1,000を寄付しました。今回、現地からメッセージが届きましたので、紹介いたします。

京都YMCA総主事 加藤俊明様

尊敬する兄弟へ、ブバネシュワールYMCAより。

ブバネシュワールYMCAの新型コロナウイルス支援事業にUS\$1,000を寄付していただき感謝申し上げます。

米や砂糖、石鹸、マスクを、スラムに住む貧しい人々に配布しました。彼らの多くは新型コロナウイルスの影響を受けていますが、支援のおかげで生活を立て直すことができました。

ブバネシュワールは、現在、新型コロナウイルスの第3波にあり、多くの貧しい人々が苦しんでいます。もし可能なら、さらなる寄付をいただけますと幸いです。

素晴らしいご支援をいただき、ありがとうございます。重ねて感謝申し上げます。



有志のお一人、京都プリンスワイズメンズクラブ岡西博司さんよりコメントをいただきました。

ブバネシュワールYMCAとの出会いは、昨年12月初め、京都YMCAのブラザーYMCAであるランチYMCAを訪れた時から始まりました。現地での交流に、ブバネシュワールYMCAのワイズメン・スタッフの方も参加されていて、そこで関わりを持ちました。

そもそも私がインドのYMCAに関わるようになったのは、25年程前、京都YMCAのインドでのジャパンフェスティバルに参加し、ランチYMCAを訪問したことがきっかけでした。正直、自分から進んでインドに行きたいと思った訳ではなく、ただ何となく一緒について行ったという感じでしたが、実際現地に行くのと驚きの連続でした。「百聞は一見に如かず」という言葉がありますが、その時のインパクトは、まさにその言葉の通りでした。この時の体験が、その後の僕の人生に大きな影響を与えたことは、間違いありません。昨年インドを訪れた際は、以前よりも現地社会の進歩を感じましたが、ランチYMCAやブバネシュワールYMCAとの交流で現地の活動を拝見し、改めてボランティアの原点に触れた思いがしました。

世界的なコロナ禍の中、現地で頑張っておられるワイズメン・YMCAのスタッフの皆さんを、少しでも応援出来たらと思い、ほんの気持ち程度寄付させていただきました。現地の人々の生活支援の一助となったこと、大変うれしく思います。



昨年12月にランチYMCAを訪問した時の様子

全国YMCAリーダー研修会にオンラインで参加しました

YMCAでは次世代コースの育成ため、研修やトレーニングを実施しています。

9月に、ボランティアリーダーを対象とした研修会が3日間にわたって開催され、全国のYMCAから約60名のリーダーが集まりました。

今回の研修では、10のグループに分かれて1つずつ社会問題を取り上げ、「なぜそれが起こったのか」「どうしたら解決するか」をプレゼンし、リーダー全員で多角的な視点からアイデアを出し合いました。

私たちのグループでは「子ども達の自己肯定感の低さ」に目を向け、YMCAのキャンプに参加する子ども達の自己肯定感を高めるためにどうすればいいかをプレゼンしました。プレゼン・ディスカッションの結果、「リーダー達が率先して歌を歌い、温かい雰囲気を作る」等、子ども達の居場所を作って楽しんでもらうためのクレド（行動指針）を全国のリーダー全体で作成しようという結論に至りました。

この研修を通して、全国のリーダー達と交流をし、新たな考え方に触れ、私の主張を受け入れてもらい、とても良い刺激を受けました。場所は違っても、皆子ども達のことを思って日々活動していることが伝わってきました。大変良い学びの機会を作ってください、ありがとうございました。

私が参加しました！



田中あみさん
(アロハリーダー)

2020-2021 ウィンター&スプリングプログラム

冬休み、春休みのシーズンプログラムを開講します。スキーキャンプをはじめ、各種プログラムを用意しています。1月までのスキーキャンプはGoToトラベル適用です。ぜひお申し込みを。

1月まで!

スキーキャンプはGoToトラベル価格で参加できます!

スキーだけじゃない!

冬休みの学童保育もあります。友だちと楽しい年末を過ごそう!

お申込みはWebで!



SNSで最新情報をお届け!

京都YMCAでは、SNSにて最新情報やプログラムの活動の様子を随時配信しております。ホームページやYMCANEWSに掲載されていない情報も発信していますので、是非チェック&フォローをお願いします。



子ども支援基金のご紹介

参加したくても費用が払えない..とあきらめてほしくない。1人でも多くの子どもたちに、学びの機会を提供するための基金です。参加費の半額もしくは一部を援助し、子育てをサポートします。

申請をご希望の方

プログラムお申し込みの際に、「子ども支援基金申請希望」とお伝えください。申請書類のご提出後、面談と審査を行います。

※申請前に、基金適用対象条件をご確認ください。詳細は京都YMCAホームページにてご覧いただくことができます。



支援をお考えの方

以下の方法で支援することができます。
現金で寄付：三条本館1階受付までお越しください。
口座振込で寄付：郵便振替 01050-7-19132 京都YMCA奉仕活動基金

通信欄に「子ども支援基金」とお書きください。

※京都銀行、ゆうちょ銀行の口座もござります。こちらの口座へお振込みをご希望の場合は、京都YMCA本部事務局までお問い合わせください。

メール配信サービスのススメ

YMCANEWS(京都版)は、京都YMCAのメール配信サービスにも掲載しております。メール配信での購読をご希望の方は、QRコードからアクセスの上、ご登録ください。

